

実践校に関する事項		
学校区分	学校名	学校長名
国立	和歌山大学教育学部附属小学校	今村 律子
学校所在地		
〒 640 - 8137 和歌山市吹上 1 - 4 - 1 Tel073(422)6105 fax073(436)6470		
担当者名	担当教科	
川端 大奨	国語科	
〔学校の概要〕 和歌山県和歌山市吹上に立地しており和歌山大学教育学部の附属学校である 県庁や和歌山城に近く緑豊かである上に和歌山市の中心であることからとても学習しやすい場所にある。また研究推進校でもあり日々教育研究に力を入れている。		
研究実践に関する事項		
対象者児童・生徒	学習支援者等（延人数）	主な活動場所
学年 3・4年生 16名	職員 1名	教室
実践研究テーマ		
国語科において書く力の向上を目指す授業実践		
実践教科等名	単元名	
国語科	新聞で紹介しよう 世界遺産学習	
〔キーワード〕 新聞 世界遺産 複式 国語		
〔単元目標〕 ◎ 世界遺産の特徴を知り、記事にすることをまとめて伝えたいことが明確になるように文章を書くことができる ○ 書いた物を見返し、句読点や段落などに注意して書くことができる		
〔学習に当たった全学習時間数（世界遺産学習に関わる時間数及び 学習活動名／教材名）〕 全体 6時間 （「世界遺産学習」2時間 ）		
〔地域および文化財管理者等との連携の実施状況〕		

実践校に関する事項			
〔単元指導計画概要〕			
	主な学習活動	学習への支援	評価方法等
1	新聞づくりについて学習する 新聞の特徴や役割を知る。	実際の新聞を活用し、どのような役割や特徴があるのかを考えさせる	ワークシート
2	世界遺産について知る 事前学習で世界遺産とは何かをあらかじめ知っておく	世界遺産のことを記事にするためにどんなことを学習してくればいいのかを考えさせる また校外学習をするうえで気を付けることの確認もさせる	ワークシート
3	世界遺産を実際に見てみる（2時間） 校外学習	記事にすることをメモを取りながら見学させる 本物に触れることで感じることも大切だという指導もしておく	ワークシート
4	世界遺産のことを記事に書く 見てきたもの調べたものを記事に書く	記事にするときに相手意識を持たせ何を伝えるのかどうすれば伝わりやすいのかを考えさせる	ワークシート 新聞
5	世界遺産新聞を発表する クラス内でどんな世界遺産があったかを発表しあう	新聞の発表を行い、振り返り・自己評価をさせる 和歌山・世界遺産に対する考えを発表させる。	ワークシート 新聞
〔単元学習の成果と課題〕			
<p>実際に校外学習に行くことでより子どもたちの「書きたい」「伝えたい」が明確になり新聞で伝えるということが身近になった。また和歌山県に世界遺産があることに気づき郷土に対する知識や興味深さを引き出すことができた。</p> <p>課題としては新聞を作成したが、クラス内だけの共有になってしまい自分たちの学習を発信することができなかった。また熊野古道までが遠くより身近な学習としてとらえることが難しかった。</p>			
〔世界遺産学習の効果〕			
<p>世界遺産を実際に歩くことで世界の世界遺産と比較して学習することができたのはとてもよかった</p> <p>郷土に対する思いが大きくなり和歌山県に対する見方・考え方が変わったといえる</p> <p>A児 和歌山県には世界遺産がありこれは世界に自慢できることだからもっと調べて広めたい。それが和歌山のためになる。と発言していたことから効果は一定あったといえる。</p>			
〔世界遺産学習の今後の方向性及び改善点について〕			
<p>今後世界遺産学習を取り入れていくにはカリキュラムマネジメントをしていく必要があると考えている。国語だけでなくそのほかの教科も含めながら世界遺産学習に取り組んでいくことが大切だと感じた。</p> <p>また世界遺産を教科と連携していくことでその教科の学習や課題がより身近になり子どもたちのこれからの探究につながるのではないかと考えている。</p>			

世界遺産を新聞でつたえよう

1次

1時間目 世界遺産を学習して、新聞で紹介しあう学習をすることを子どもたちと共有した。この場面では、学習の見通しを持たせるために学習課題と最終の成果物の概要を説明した。そのうえで新聞の役割と特徴について学習した。この時にワークシートを活用して新聞の特徴に気づきやすいように工夫した。

2次

2時間目

世界遺産の事前学習を行った。主に熊野古道・本宮大社についての事前学習を行った。熊野古道・本宮大社の歴史や写真などを活用して行った。その中で子どもたちに記事にしたいことを考えさせる活動を行った。そうすると「なぜ鳥居が大きいのか」や「道がなぜ世界遺産？」といった疑問が出てきた。そこで全体でその疑問を共有しつつ今後の課題にしていくことができた。またそれについて記事にしようと考えている子どももいた。

3時間目・4時間目

校外学習

実際に世界遺産を目にし、子どもたちは疑問や気づきがあり本物に触れ、次の学習に期待を寄せていた。

3次

5時間目

新聞づくり

記事にすることをまとめ整理し、新聞の形にしていく。そのときに何を一面とするのかを考えさせ、誰に伝えるかも考えさせることにした。そしてどんな新聞にしていくのかを考え一人一人の課題や疑問を大切に新聞づくりにした。

6時間目

新聞で発表

クラス内で発表し、それぞれの新聞についてのコメントやよかったところなどをお互い発言していくことでより価値づけることができた。また自分の新聞についての自己評価を行い振り返りを丁寧に行うことでよりよいものにするという意識を持つことができた。